



**2022年度 年主題「つながって～今、わたしを生きる～」**

**0・1・2歳児3月主題「おおきくなったね」**  
月のねがい  
◎神さま、イエスを大好きと感じる(0)◎戸外に出て春の訪れを感じる(0)  
◎生活のリズムができあがり、安心して過ごすうち心も満たされる(0)◎いつも神さまと一緒にいて下さることを感じ、感謝する(1.2)◎日々を喜び、安心して過ごし進級することを楽しみに待つ(1.2)◎自分でできることが増え、友だちとの関係を楽しみながら心身共に元気に過ごす(1.2)

**3・4・5歳児3月主題「信じる」**  
月のねがい  
◎神さまに守られて大きくなったことを喜び、感謝する◎友だちと思いを伝え合うことを喜び、互いの思いやその子らしさを受け止め合って過ごす◎心満たされる日々を経験し、4月からの新しい生活を待ち望む◎共にいて下さった神さまが、これからも導いて下さることを信じ、希望を持つ◎育まれた信頼関係を土台に、安心して4月からの生活に歩み出していく



**あつという間の1年間**

まだまだ寒い日もありますが、こども園には菜の花や桜の花が咲き始めました。随分前に大流行した「こびとづかん」を覚えていませんか。私は、流行時からこのこびとづかんが好きで、家のあちこちにこびとの置物が置いてあります。そのこびとづかんの絵本をすみれ組で読んであげて以来、なぜかこのこびとづかんが大好きです。その中で花びらが占いができるこびとがいて、その占いの話をすると、園庭に咲いている野の花を見つけては「すき・きらい・…」とドキドキしながらやっています。そして、最後の花びらが「きらい」になるのがわかると、すみれの男の子は、しばらく考えて「大好き!」の言葉に変えてみたり。子どもたちの機転の早さは本当に驚く事ばかりです。咲いている菜の花や桜、野の花は、見て楽しむことはもちろんですが、落ちていたり朽ちる前に、色水やブーケにして楽しむ毎日です。



話は変わりますが、先日、持久走大会が行われ、たくさんの応援をいただきました。本当にありがとうございました。持久走は、苦手な子もいますが、本番はみんな元気に完走し、心の強さも養われていることも感じずにはいられませんでした。夕方6時のお迎えの後、毎日グラウンドに走りに行ったり、最後まで走れるように家族で作戦会議をしたり、また絆創膏に「がんばれ!」の文字を書いたりされたご家庭のことも知りました。平日の行事は、仕事を休まなければならず、負担に感じられる方もおられるかもしれません。でも、子どもたちにとって大きく成長できるきっかけでもあり、たくさんの学ぶことや得るものがあると思います。今年度もいろいろな出来事があり、そのたびに子どもたちの新しい一面、頑張る姿、悔しがる様子を見てきました。年長児さんは、めいろうでの経験を小学校で生かしてほしいです。そのかっこいい姿を見た年中児さんたちが、来年度どんな姿を見せてくれるのか楽しみでなりません。

さて、いよいよお別れの季節がやってきました。あつという間に過ぎていくとは思いますが、日々の何気ないことも大切にしながら過ごしていきたいと思っています。今年度も残り1か月ほどありますが、たくさんのご理解とご協力まことにありがとうございました。 森山

**今月の聖句**「いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら3つです。」

I コリ13:13

MISIAさんの「アイノカタチ」(作詞・作曲GreenN)は有名ですが、もう一つの「愛のカタチ」という歌をご存知でしょうか。この歌は認知症になってしまった祖母のことを孫である中村つよしさんが歌ったものです。「誰も知らない泣ける歌」というTV番組でも紹介されたことがあります。アルツハイマーになり、様々な記憶をなくした祖母だけれども、最後まで夫のことを忘れなかったことに心を動かされ、この歌が生まれました。

「夏の夕暮れ裏通りへとあなたが散歩に出かけたなら、あたしは庭の錆びたベンチであなたの帰りを待つでしょう。」中村さんの祖母は記憶をほとんど失いましたが、それでも春も夏も、旦那さんのことをまっすぐに思い、その帰りを待っているような方でした。

さらに歌詞は続きます。「愛なんてあたしには似合わないけれど、一人で居る時にあなたを思う事が愛ならば、これは愛です。」「愛」は目には見えない。だからこそ「愛ってなに?」と疑問に思うこともあります。歌の主人公のように、時には「愛なんて似合わない」と思うこともある。そんな方でも、この歌詞はしっくりくるはず。自分の時間に相手をふと思ふこと、これは愛がなければありえないことです。私はこの歌を初めて聞いた時、心が震えました。

これは人間が神に似せて造られているからこそ持っている、人間らしい一面です。「いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら3つです。その中で一番すぐれているのは愛です。」そう聖書が語る通りです。 協力牧師 池田基宣

**3月の行事予定**

2日(木)	お別れ会・給食バインク
3日(金)	3月誕生会
3日(金)	役員会、監査
8日(水)	※弁当日
11日(土)	卒園式
17日(金)	修了式(1号:午前保育)
30(水),31(木)	年度末休業日

**4月の行事予定**

8日(土)	始園式・入園式 ｸﾗｽ会(親子で降園)
15日(土)	役員会
22日(土)	親子遠足(※弁当日) 父母の会予算総会
26日(水)	4月誕生会

※3・4月は諸事情により変更及び中止になる場合があります。

**お年玉募金のお礼**

過日実施しましたお年玉募金のご協力まことにありがとうございました。皆様方と職員からの浄財 26,882 円を国債飢餓対策機構へ送金させていただきました。心より感謝申し上げます。

**星とたんぽぽ**

金子みすゞ

青いお空のそこふかく、  
海の小石のそのように、  
夜がくるまでしずんで、  
星のお星はめにみえぬ。  
見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬけれどもあるんだよ。

ちつてすがれたたんぽぽの、  
かわらのすきにだアまって、  
春のくるまでかくれて、  
つよいその根はめにみえぬ。  
見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬけれどもあるんだよ。

**旅立ちの春**

三寒四温を経て、一雨ごとに暖かみを増してきました。余寒も過ぎ、弥生三月を迎えます。弥(いよいよ)ます(ます)生(生)い茂(茂)るとは、文字通り草木が芽吹く季節。一年の仕上げのとき、喜びと寂しさのときでもあります。

**入学を喜び楽しんで迎えるために**

市教育委員会主催で年3回の「学力向上推進委員会」があります。市内の小学校長先生方、幼稚園・保育園・こども園の園長先生方が集まり、幼児・児童の育ちや学びについて熱心に語り合います。今年度は、幼児期の生活習慣を調査し実態を把握するということで、年長児を対象に2回ほど生活リズムチェック表を配布させていただきました。ご協力ありがとうございました。ありのままに記録を提出していただきましたので、子どもたちの家庭での生活も伺い知ることができました。睡眠・食事・遊び・親子の触れ合いなど、生活を整えていくことの大切さを感じ、保護者の方々と一緒に考えていきたいと思っております。以下は小学校前に身に付けたい大切な生活習慣としてあげておりますが、幼児期の生活を考える上でも大切にしたいことですので、皆さんと共有したいと思います。

- 《小学校入学前に身に付けたい大切な7つの生活習慣》
- ①交通ルールを守り通学路を歩く  
自宅から学校までのルートを親子で何回か歩き、危険なところがないかの確認しておくことが大事ですね。
  - ②とっさの緊急対応ができる  
最近では防犯ブザーをランドセル等に付け緊急時に使えるようになっているようですが、ひもを引いてブザーを鳴らせること、緊急時に親の緊急連絡先を言えるようにしておく等の練習をしておくことも大切です。
  - ③和式トイレを伝える

家庭では洋式トイレが一般的になってきていますが小学校では約8割が和式トイレのようです。和式トイレで実践練習をしておくことも大事になってくるようです。

- ④着替えをスムーズにおこなう  
体育の授業の前に体操服に着替えたり、脱いだ服をたたんで片付けたりが一人で出来るようにしましょう。
- ⑤あいさつや返事が自然に出来る  
小学校に入学して友人関係を円滑にしていけるためにも大切になってきます。
- ⑥人の話を落ち着いて聞く  
先生の指示や授業を聴けるように、人の話を落ち着いて聴く習慣も付けておきたいものです。友だち同士でも、自分ばかりが一方向的に話すのではなく、相手の話もきちんと聞き、その上で自分の考えを主張することで、友人関係は良好に築かれていくものです。
- ⑦適切な我慢をすることができる  
小学生になると、自分で判断し、行動しなければならぬことが増えます。その中で規則や社会のルールを守っていかなくてはなりません。それらは必ず我慢する力が必要になってきます。順番を待つことや、授業中は着席して先生の話を聴く、宿題はちゃんと提出するなど、何らかの我慢を要していきます。我慢ばかりは意欲の低下に繋がりますので、自己主張と自己抑制のバランスを考えながら我慢する力を身に付けていくことが大切です。

副園長 園師 愛



乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期である。教育・保育要領に示されています。意図された適切な環境の中で、あそびを中心とした活動を十分に経験し、小学校以降の学習の場に入っていくことが大切です。時間を忘れて何かに熱中できることは学ぶ力の根っこだと思います。そして、簡単に諦めないで何度かチャレンジする根気が、学びの力を強めていくのではないのでしょうか。SI教育の白濱先生は、生き生きとした知力を育むには、次の五つの力が大事であると言われました。①自分からやる気になる②面倒くさいことを面倒くさがらない③注意の集中力が高い④自分の意思や考えを主張できる⑤目的を持って取り組む。どれも非認知能力と呼ばれる目に見えない力の結集ですね。これらの能力を基に、夢に向かって自分を肯定的に捉えられる子どもに育てたいと思います。物事を真面目に捉えられる誠実さの基盤は、様々な体験と他者との交わりの中で培われます。これから益々、様々なことに挑戦し、主体的な探究心を育んで欲しいものです。子どもたちを忍耐強く、温かく見守り育てていくことは、希望に胸を膨らませる春を待つ気持ちに通じます。多様な時代にあっても、一番大切なものは、いつも目に見えないのだというのを忘れずにいてほしいです。金子みすゞの詩にあるように、星やたんぽぽの根のごとく、見えないけれど確かに在る神さまの大きな愛と人々の愛に満たされ、心優しいひかりの子として歩むことが出来ますように祈っております。この一年間、保護者の方々には色々な面でご支援ご協力を戴き、誠にありがとうございました。多くの足らざるところをお詫言し、心より感謝申し上げます。 園長